

2月の重大ニュース

ここでは先月の知っておいた方がよいニュースを取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか。

世界の国外旅行者、最大の 7.6 億人

国連の世界観光機関が、2004 年の世界の国外旅行者は前年より 10% 増え、過去最大の 7 億 6000 万人に達したと発表。世界経済の回復に加え、03 年の新型肺炎 S A R S とイラク戦争による旅行者減少の反動で、20 年ぶりの高い伸び率になった。(2日)

生活科も見直し検討

学習指導要領の見直しを進めている文部科学省の審議官が、小学校低学年で 92 年度から導入されている「生活科」も検討の対象と話す。「総合的な学習の時間」の見直しは文部科学大臣が表明しているが、生活科見直しが浮上したのは初めて。(3日)

ライブドアがニッポン放送株取得

インターネット関連会社・ライブドアが、ラジオ局・ニッポン放送の株式の 35% を取得。同放送の経営方針決定に大きくかかわることになった。同時に、同放送が筆頭株主になっているフジテレビジョンにも影響力を持つことになり、フジサンケイグループと提携してネット・テレビ・ラジオの融合ビジネスをめざす考え。フジテレビ側は「寝耳に水。提携する気はない」と反発。(8日)

ゆとり教育全面見直し

中山文部科学相は中央教育審議会(文科相の諮問機関)の総会で、「ゆとり教育」を柱とした現行の学習指導要領を今年秋までに全面的に見直すよう要請した。国語に力を入れる必要性を強調した上で、「総合的な学習の時間」の適正な授業時数を検討するよう求めた。現行の学習指導要領は、早ければ 2006 年度にも改訂されることになる。(15日)

中部国際空港が開港

中部国際空港(愛知県常滑市)が開港し、国内線、国際線合わせて 1 日 275 便の離着陸が始まり、多くの人でにぎわった。(17日)

学校の安全、全国で強化

大阪府寝屋川市中央小学校の教職員殺傷事件を受けて、政府は全国の小中学校を対象

に、校長の要請があれば警察官が校内を巡回するなど、安全対策を強化する方針を固めた。また、大阪府は大阪市を除く市町村の公立小学校計 733 校に 4 月から警備員を配置することを決めた。一方、寝屋川市教育委員会によると、事件が起きた中央小の児童の 4 人に 1 人が心身に変調をきたしていることが分かった。16、17 日の家庭訪問で、教職員が面談した全児童 601 人のうち 145 人が食欲不振や睡眠障害などの症状を訴えた。(18 日)

大学・高校生 4 割、イラクの位置不正解

最近、メディアに何度も登場した国の位置を質問したところ、北朝鮮の場合は大学生の 1 割、高校生の 4 分の 1 が、イラクの場合は 4 割台の大学・高校生が、いずれも正しく答えられなかった。日本地理学会が発表した全国調査で分かった。(22 日)

2005 年 3 月中学生